

愛知機械工業

市熱田区、和田民世社長は、熱田工場（同区）で蒸気レス化を進めている。2023年6月に排水濃縮装置を蒸気式からヒートポンプ式に切り替え、二酸化炭素(CO₂)排出量は従来比で年間246t（約80%）削減した。省エネルギーの効果が得られたほか、導入費用やランニングコストも抑えられた。

同社は日産の完全子会社で、エンジンや減速機、内燃機関向け部品などを供給する。熱田工場では小型車向けエンジンを集中的に生産する。同工場で発生する工場排水

愛知機械工業（名古屋

市熱田区、和田民世社

長）は、熱田工場（同

区）で蒸気レス化を進め

ている。2023年6月に排水濃縮装置を蒸気式からヒートポンプ式に切り替え、二酸化炭素(CO₂)排出量は従来比で年間246t（約80%）削減した。省エネルギーの効果が得られたほか、導入費用やランニングコ

モノづくり現場

生産革新・脱炭素社会への挑戦

■8■

ヒートポンプで蒸気レス



ヒートポンプ式蒸発濃縮装置

排水濃縮のCO₂80%減

を処理する濃縮装置について、設備が老朽化する中、環境面や経営面にメリットがあるとみて、ヒートポンプを搭載した装置に更新した。

導入したのはサクラ（大阪市西淀川区）製の濃縮装置。従来の蒸気式ではボイラから約130t離れた装置まで蒸気が減った。

導入したのはサクラ（大阪市西淀川区）製の濃縮装置。従来の蒸気式ではボイラから約130t離れた装置まで蒸気が減った。

導入したのはサクラ（大阪市西淀川区）製の濃縮装置。従来の蒸気式ではボイラから約130t離れた装置まで蒸気が減った。

導入したのはサクラ（大阪市西淀川区）製の濃縮装置。従来の蒸気式ではボイラから約130t離れた装置まで蒸気が減った。

導入したのはサクラ（大阪市西淀川区）製の濃縮装置。従来の蒸気式ではボイラから約130t離れた装置まで蒸気が減った。

いる。製造工程で蒸気を使用する装置が一部残るが、今後はこれも電化する計画だ。

同社はカーボンニュートラル（温室効果ガス排出量実質ゼロ）実現に向け、30年に

では小型車向けエンジンを集中的に生産する。同工場で発生する工場排水を小形化したことで導入費用も抑えられた。足元では年間2~3%のCO₂を削減してお

【事業所概要】▽所在地：名古屋市熱田区南一一番町1の10、052・661・5111▽主要生産品目：小型車向けエンジンなど▽年間CO₂排出量：2万1127t

【事業所概要】▽所在地：名古屋市熱田区南一一番町1の10、052・661・5111▽主要生産品目：小型車向けエンジンなど▽年間CO₂排出量：2万1127t

【事業所概要】▽所在地：名古屋市熱田区南一一番町1の10、052・661・5111▽主要生産品目：小型車向けエンジンなど▽年間CO₂排出量：2万1127t